



平成 30 年度  
国際交流報告書

# 平成30年度 年間行事

## 全キャンパス

月	日付		内容	ページ
7	7/1~21		2018年 夏期日本語・日本文化研修	3.4
	7/29~8/17		培材大学校（韓国）サマースクールへの参加	14
8	8/5~12			
	8/20~29		台中科技大学（台湾）短期夏季研修への参加	13
	8月		海外実践活動支援制度（GLOBAL DREAM HUNT）	1.2
9	9/8~15		海外企業研修（タイ）	9
	9/11~2/16		政府実施海外派遣事業	7
10	10/15~21		東北師範大学歴史文化学院（中国・吉林省） 訪問団来学	10
12	12/9~16		「カケハシ・プロジェクト（ハワイ）」	8
1	1/24~2/12		2019年 冬期日本語・日本文化研修	5.6

## 浜田キャンパス

月	日付		内容	ページ
4	4, 5, 7月		国際交流イベント（Get Set Meeting／World Cafe） 開催	12
6	6/10・13		留学生が地域の学校を訪問 1）江津市立高角小学校	12
	6/25~29		ロシア海洋国立大学の訓練船「ナジェジュダ号」寄港	19

8	8/1~29		異文化理解研修（中国・北京）	15
	8/5~27		異文化理解研修（カナダ・バンクーバー）	17
	8/5~30		異文化理解研修（韓国・蔚山／ソウル）	16
	8/27~29		寧夏大学（中国）訪問団来学	20
11	11/3・4		国際交流推進支援事業（みんながつながる国際交流プロジェクト）	11
12	12/8			
1	1/15		留学生が地域の学校を訪問 2) 益田市立匹見中学校	12
3	3/2~25		異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）	18
	3/15~17		イグビネディオオン大学（ナイジェリア）来学	18
			留学生歓送迎会	20

### 出雲キャンパス

月	日付		内容	ページ
8	8/21~26		異文化研修Ⅰ（韓国）	21
	8/21~31		異文化研修Ⅱ（アメリカ）	22

### 松江キャンパス

月	日付		内容	ページ
5	5/15		南ユタ大学（アメリカ）との交流	23
7	7/17~19		異文化理解演習	23
8	8/7~28		海外語学研修（アメリカ）	24

本学では、短期・長期の留学や派遣、海外からの留学生受け入れ、その留学生と日本の学生

短期研修 全キャンパス

## 海外実践活動支援制度（GLOBAL DREAM HUNT）

当事業は、個人、法人、団体から寄付をいただいた「島根県立大学ゆめ基金」を財源に運営しています。島根県立大学(全キャンパス)に在学する学生が、海外での「夢への挑戦」、「グローバルな実践活動」を実現できるよう、学生自らが企画する海外での活動に対して補助します。平成30年度は、個人枠3名、団体枠3団体を採択しました。

【個人枠】(浜田キャンパス1名 出雲キャンパス1名 松江キャンパス1名)

〔渡航先〕インドネシア :平成30年9月2日～9月15日

〔プロジェクト名〕「Let's think of "HEALTH" together」

健康であるための教育について考える

			<p>HIV や、狂犬病、デング熱、破傷風などバリ島で流行しやすい感染症について、病気の特徴や症状、予防法や対処法を中心に授業を行った。</p>
--	--	---	--

〔渡航先〕タイ :平成30年9月14日～9月20日

〔プロジェクト名〕「Uターンフェアトレード」

タイ山岳民族ボランティアを通じてフェアトレードを学ぶ

		
<p>▲ラフ族の子供達</p>	<p>▲ボランティアメンバーと</p>	<p>▲大学祭フェアトレードショップをひらいた</p>

〔渡航先〕オーストラリア :平成31年2月23日～3月17日

〔プロジェクト名〕「異文化コミュニケーションから保育環境づくりを問う」

思いが届く！つながる！分かち合う！

	<p>シドニーの保育園で3週間ボランティア実習を行い、オーストラリアの保育について身をもって学んだ。日本の歌やゲーム、昔話なども子どもたちに紹介する中で、言語的・非言語的コミュニケーションのありかたについて考察した。</p>
---	--

との交流など、国際人としての素養を身につける幅広い取り組みを行っています。

### 【団体枠】

〔プロジェクト名〕「What can we do for Cebu?

セブ島のために私達は何ができるか」(出雲キャンパス)

〔渡 航 先〕 フィリピン : 平成 30 年 8 月 15 日～8 月 29 日



▲子どもたちの身体測定



▶子供たちに、過剰な糖分摂取などの悪影響を紹介



〔プロジェクト名〕「デンマークで見つけよう！ROAD of 幸福度 NO. 1 しまね」

(出雲キャンパス)

〔渡 航 先〕 デンマーク : 平成 30 年 8 月 20 日～8 月 27 日



▲高齢者福祉施設を見学



▲障がい者施設を見学



▲折り紙などを紹介

〔プロジェクト名〕「日本と台湾の架け橋プロジェクト」(浜田キャンパス)

〔渡 航 先〕 台湾 : 平成 30 年 9 月 18 日～9 月 23 日



▲日本を紹介



▲現地高校生に日本の伝統衣装を体験してもらった



▲友好関係を調べるため、日本と台湾でアンケート調査を行った

## 2018年 夏期日本語・日本文化研修

平成30年7月2日から7月20日の約3週間、海外の協定校から学生16名を受け入れました。



日本語授業



食食交流会



日本語交流活動「若者ことば」



学校訪問（江津市立渡津小学校）



視察（大田市温泉津町）



文化授業（着付け体験）



視察（津和野町）



文化授業（石見神楽）



市民交流（和菓子作り）



学校訪問（益田市立匹見小学校）



出雲キャンパス交流



松江キャンパス交流

## 【参加人数】

- ◇中国・華僑大学 2 名、安徽財経大学 1 名
- 韓国・ソウル神学大学校 4 名
- 台湾・台中科技大学 4 名、世新大学 1 名
- アメリカ・ワナチバレーカレッジ 4 名                      6 大学 1 6 名
- ◇学生サポーター54 名

## 【日程】

6/30	入寮
7/1	学生交流（買い物、交流会）
7/2	オリエンテーション、開講式、昼食交流会、キャンパスツアー、歓迎会
7/3	日本語授業、市内ツアー
7/4	講義体験、学校訪問（江津市立渡津小学校）各国語読み聞かせ、学生交流（茶道部）
7/5	日本語授業、語学授業参加（韓国語・中国語・英語）
7/6	日本語授業、講義体験
7/7	夜神楽鑑賞
7/8	体験・視察（大田市）ミニ神楽面作り&温泉津温泉
7/9	日本文化授業（着付け）、体験・視察（津和野町）太鼓谷稻荷神社と街並み散策
7/10	日本語交流活動、日本語授業、学生交流（セカイへ）ミニ運動会
7/11	日本文化授業（石見神楽）、市民交流（水澄の里世界の翼）和菓子作り&龍雲寺拝観
7/12	学校訪問（益田市立匹見小学校）と わさび田見学&田舎体験
7/13	日本語交流活動、体験・視察（大田市）石見銀山散策、交流会
7/14	体験・視察（広島市）平和記念資料館&お好み焼き体験
7/17	出雲市内観光（出雲キャンパス交流）、松江キャンパス合同授業「アジア文化交流」
7/18	松江キャンパス合同授業「アジア文化交流」（松江ツアー）、しまね国際センター研修
7/19	松江キャンパス合同授業「アジア文化交流」（成果発表会）、しまね国際センター研修
7/20	しまね国際センター研修、閉講式
7/21	退寮 宮島観光（広島）

## 【短期留学生からの感想】 ※短期留学生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆大学3年生なので次のチャンスはないかもしれませんが、この研修をいつまでも覚えていきます！でもきっとまた来ます！その時また会いましょう！先生、お疲れ様でした！
- ◆おつかれさまでした。おかげさまで とってもたのしかった。よい けいけんを たくさん しました！

## 2019年 冬期日本語・日本文化研修

平成31年1月24日から2月12日の約3週間、海外の協定校から学生15名を受け入れました。



松江キャンパス開講式



出雲キャンパス交流



歓迎会



日本語授業



学生交流（茶道部）



市民交流（餅つき）



夜神楽鑑賞



視察（節分祭）



学校訪問（島根中央高校）



視察（石見銀山&温泉津町）



学生交流（国際交流会館）



体験（紙漕ぎ）

### 【参加人数】

- ◇中国・華僑大学 2 名、安徽財経大学 2 名、暨南大学 2 名
- 韓国・ソウル神学大学校 2 名、大邱韓医大学校 1 名、培材大学校 1 名
- 台湾・台中科技大学 3 名、世新大学 2 名 8 大学 15 名
- ◇学生サポーター32 名

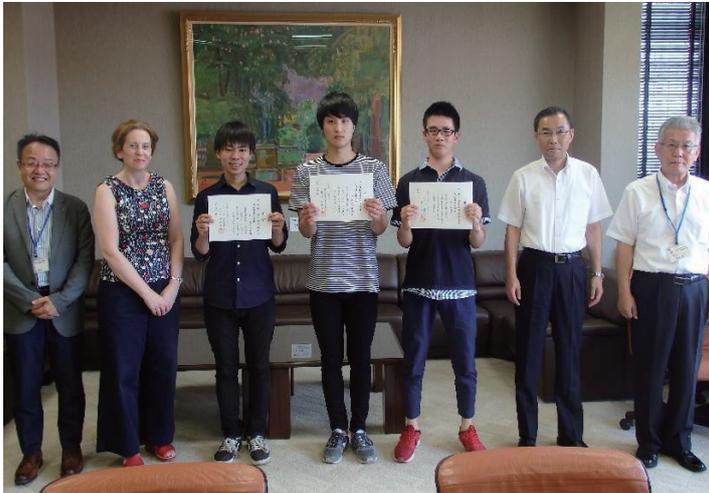
### 【日程】

1/23	入寮
1/24	開講式、オリエンテーション、松江キャンパス交流会
1/25	日本語・日本文化授業、フィールドトリップ（松江城・松江歴史館・小泉八雲記念館など）
1/26	日本語・日本文化授業、文化体験（風呂敷包み）
1/28	出雲市内観光（出雲キャンパス交流）
1/29	浜田キャンパス開講式、キャンパスツアー、日本語・日本事情授業、昼食交流会、歓迎会
1/30	日本語・日本事情授業、学生交流（茶道部）
1/31	日本語授業、講義体験、市民交流（美川公民館）餅つき、学生交流（セカイハ）ミニ運動会
2/1	語学授業参加（中国語・韓国語）、高校訪問（島根中央高校）
2/2	夜神楽鑑賞
2/3	体験・視察（益田市）柿本神社節分祭と医光寺
2/4	日本語授業、日本文化授業（着付け体験）
2/5	日本語・日本事情授業
2/6	日本文化授業（石見神楽）
2/7	高校訪問（島根中央高校）
2/8	日本語授業、体験・視察（浜田市）アクアス
2/11	体験・視察（大田市）石見銀山散策&温泉津温泉
2/12	日本語授業、体験・視察（浜田市）紙漉き、閉講式（成果報告会）、送別会

### 【短期留学生からの感想】 ※短期留学生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆普通の観光旅行ではできない、素晴らしい体験ができました。島根を味わう旅でいろいろと教えていただき、とても勉強になりました。
- ◆今回の研修を通して、日本文化の勉強ができただけでなく、日本や韓国の学生さんたちと友達になって、本当にありがたいです。帰国してもみんなのこと絶対忘れられません。この間ありがとうございました。
- ◆忘れられない経験をしました。その経験大事にして韓国へ持って帰ります。みんなその間、どうもありがとうございました。

## 政府実施海外派遣事業



### 【内閣府青年国際交流事業】

日本と世界各国の青年との交流を通じて、広い国際視野と国際協調の精神を養い、国際化の進む社会で活躍できる青年の育成を目的として、内閣府が実施する事業です。平成 30 年度は、「日本・中国青年親善交流事業」に浜田キャンパスの学生 1 名が、日本の代表青年として選出されました。 <派遣期間：10/23～11/3>

### 【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 地域人材コース】

意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機運を醸成することを目的として、文部科学省が実施する事業です。政府だけでなく、社会総掛かりで取り組むことにより大きな効果が得られるものと考え、各分野で活躍されている方々や民間企業からの支援や寄



附などによって、官民協働で「グローバル人材育成コミュニティ」を形成し、将来世界で活躍できるグローバル人材を育成しています。平成 30 年度は浜田キャンパスの学生 1 名が派遣留学生として採択され、アメリカ合衆国・ポートランドを拠点に活動しました。

<活動期間：10/ 7～2/ 16 >

### 【日独学生青年リーダー交流事業】

ボランティア活動を行っている日本とドイツの学生の交流を促進することで、高い国際感覚を育成することを目的として、ベルリン日独センターが実施する事業です。ドイツ派遣時には、ボランティア団体等の訪問、合宿セミナー、ホームステイ、学習成果発表等を行います。平成 30 年度は浜田キャンパスの学生 2 名が、日本の代表青年として選出されました。 <派遣期間：9/11～25>

## 「カケハシ・プロジェクト（ハワイ）」

日本政府（外務省）が推進する対日理解促進交流プログラムの一環で、北米地域を対象に実施する交流事業「カケハシ・プロジェクト」に本学が採択され、学生 11 名がハワイで石見神楽や小泉八雲の怪談など、島根の文化を伝えました。

派遣先：ハワイ 派遣期間：平成 30 年 12 月 9 日～12 月 16 日

派遣学生：11 名（浜田キャンパス 8 名・出雲キャンパス 3 名）

- ◆プレゼンテーション：「石見神楽：進化し続ける伝統芸能」 「小泉八雲の怪談が開く『心の扉』」 「『愛してる』を方言で言ってみよう！」
- ◆パフォーマンス：「耳なし芳一」 「飴を買う女」 空手「カンクウダイ」



## 海外企業研修（タイ）

ASEAN 諸国内への輸出拠点として、日本企業の進出も顕著なタイの首都バンコクを約7日間の行程で訪問しました。タイ現地企業や日系企業への訪問、また現地大学生との交流を通じて、国際的視野の獲得と国際協調の精神を養いながら、自分の将来を考えるきっかけとなりました。

【期 間】 平成 30 年 9 月 8 日（土）～9 月 15 日（土）

【参加者】 学生 8 名（浜田キャンパス）、引率者 3 名

【訪問先】 LME、SMET、ブンロート・ブリュワリー社、AKEBONO PRECISION(SHINKO ASIA)、CHAHO、山陰合同銀行バンコク駐在員事務所、カセサート大学、VISTEC、泰日工業大学、はなまる日本語学校、ジェトロ バンコク事務所



### 【参加学生の感想】

- ◇ 私を含む 8 人の学生が大きく成長できたと思います。海外企業・日系企業・現地の大学を訪問し、海外の方との協働のあり方や、異文化理解など、自分たちにとってこれから必要となる、多くの知識を身につけることができました。今後は、この研修で身につけたことを生かしながら、大学内外での活動に精力的に参加していきたいと思います。
- ◇ それまでに自分の中で常識だと思っていたことが次々と覆されていきました。私は以前まで、日本はアジアを引っ張っていく存在だと思っていましたが、実際には、思っていたことと異なる部分も現状としてありました。このように日本で生活しているだけでは分からないこと、新しいことを知ることができます。私自身、この研修に参加して得るものが多かったです。興味のある方は是非参加してみてください。
- ◇ 私はたくさんの事を学び、自分を成長させることができました。学びの部分では、ASEAN諸国の事や、タイに進出している日系企業の活躍を見ることができました。企業訪問の中で、日本とタイの関係性をよく知ることができました。自分の成長の部分では、自分の将来の進路に対するとらえ方が変化し、今まで狭かった視野を広げることができました。

## 東北師範大学歴史文化学院(中国・吉林省) 訪問団来学

本学と学術協定を結ぶ当学院の教員 1 名と学院生 11 名が来学し、平成 30 年 10 月 15 日から 10 月 21 日にかけて、本学学生・教職員との交流プログラム、大学院での合同発表会、石見銀山での学習活動を行いました。



## 国際交流推進支援事業（みんながつながる国際交流プロジェクト）

本学の日本の学生と留学生が一緒になって企画するもので、より多くの人たちが国際交流・国際理解の機会を持てるようなイベントに対して、大学が補助をする事業です。平成30年度は2団体が採択されました。

### 【採択団体】

〔イベント名〕 GLOCAL CAMP 2018

〔時期・場所〕 平成30年11月3日（土）、4日（日） 国立三瓶青少年交流の家

〔参加人数〕 石見地域の高校生8名 県大生14名（うち留学生5名）

〔内 容〕



石見地域の高校生を対象にした、1泊2日の国際交流のための合宿。1日目は、野外炊飯でカレーを作り、班別対抗のアクティビティやトークタイムで交流を深めました。2日目は、ワークショップを行い、異文化理解に関するテーマについてみんなで考え、共有することができました。



### 【採択団体】

〔イベント名〕 World Game Fes!

〔時期・場所〕 平成30年12月8日（土） 島根県立大学講堂、カフェテリア

〔参加人数〕 石見地域の中・高校生6名 県大生12名（うち留学生4名）

〔内 容〕



大学生や留学生と交流する機会が少ない中高生を対象にしたイベント。外国の人と交流する楽しさを知り、日本のことだけでなく海外にも興味を持つきっかけにしてほしいと考え、このイベントを企画しました。日本の学生と留学生と一緒に、世界のカードゲームやクイズなどで盛り上がり、自由に話して交流しました。

## 留学生が地域の学校を訪問

- 1) 江津市立高角小学校 平成30年6月13日  
ロシアからの留学生が、江津市立高角小学校の5年生クラスを訪問し、簡単なロシア語とロシアについて紹介しました。また、6月10日には、江津市和木地域コミュニティ交流センターで開催された「ロシア祭り」に参加しました。



- 2) 益田市立匹見中学校 平成31年1月15日  
中国と台湾からの留学生が、全校生徒13名の益田市立匹見中学校を訪問しました。留学生は、出身地に関するクイズをしながら自国を紹介しました。中学生からは神楽や和太鼓、琴の演奏の披露がありました。給食も一緒に食べ、交流を深めました。



## 国際交流イベント（Get Set Meeting/World Cafe）開催

海外を目指す学生を応援するため、学生交流会を定期的に行っています。

### 【Get Set Meeting】



海外での経験・体験を、先輩から後輩へ語る。〈5月実施〉

### 【World Cafe】



留学生と日本の学生とのネットワークを広げました。〈4月、7月実施〉

## 台中科技大学（台湾）夏季短期研修への参加

協定校の台中科技大学が実施する研修で、中国語の授業を受け、台湾の企業訪問・観光をしながら、同大日本語学科の学生と交流します。平成 30 年度は 8 月 20 日から 8 月 29 日まで、学生 3 名が参加しました。



### 【参加学生の感想】

◇毎日朝から晩まで、とても充実した 10 日間でした。夕食や散策、プログラムの観光は、大学ごとのグループ行動で、毎日外に出掛けて、いろんなものを食べて、6 人での思い出がたくさんできました。ホームステイは研修中で一番中国語を使った 1 日でした。ホストファミリーにもすごく親切にしてもらい、ゆっくり話をしてくれたり、筆談を交えたりして、おしゃべりも出来て楽しかったです。台湾語の挨拶なども少し教えてもらいました。中国語の授業は、繁体字と先生の中国語にはじめは戸惑いましたが、発音から教えていただいたので勉強になりました。最終日の発表会では、中国語でスピーチをしました。チューターさんに中国語の表現を教えてもらって原稿を書き、発音を直してもらいながら練習しました。本番は緊張で詰まってしまいましたが、褒めてもらえて嬉しかったです。この研修に参加して、学生ならではの貴重な体験ができました。語学も継続して、台湾にまた行こうと思います。

◇私は 3 ヶ月程しか中国語を学んでおらず、初めて海外に行くためとても不安で緊張していました。しかし、台湾の学生達は日本語が上手だったため、交流に不自由は感じませんでした。授業では発音から教えていただきました。ほぼ中国語のみで行う授業があり、難しいと感じることがありましたが、先生方や学生達が助けてくれたので、楽しく中国語を学ぶことが出来ました。台湾の学生達は日本語が上手でしたが、分かる部分は中国語で交流したり注文をしたり意識的に中国語を話すように心がけました。そのためか、最後に中国語で発表する時台湾の先生に発音を褒められてとても嬉しかったです。少し自信がつかました！また、観光地だけでなく日本人だけでは行かないような場所に連れてってもらって台湾の文化を様々な角度から感じる事が出来て幸せでした。今後の中国語の勉強へのモチベーションに繋がりました！今回の短期研修に参加することが出来てとても良かったです！！

## 培材大学校（韓国）サマースクールへの参加

世界各国の大学から約 200 名の学生が参加する大規模なサマースクールで、韓国語と韓国文化を学び、体験します。毎年 8 月上旬から約 3 週間のプログラムですが、平成 30 年度は、7 月 29 日から 8 月 17 日の 20 日間プログラムに浜田キャンパスの学生 3 名が、8 月 5 日から 8 月 17 日の 2 週間プログラムに出雲キャンパスの学生 1 名が参加しました。

### 【プログラムの様子】



▲テコンドー体験



▲コンサート



▲クラスメイト

### 【参加学生の感想】

◇私がこの研修に参加しようと思った理由は二つあります。一つ目はさらなる韓国語の向上と韓国で文化体験をすることです。二つ目は 1 年時に異文化理解研修に参加した際にたくさんの人と接し、人の輪のつながりを感じることができたので、今回の研修を通して更にその輪を広げていこうと考えたからです。この研修は、韓国語の授業はもちろん、テコンドーなどの韓国文化の体験、それ以外にもダンス大会や運動会など毎日が本当に充実しているプログラムでした。日本人以外にもロシアや中国、台湾など世界各国から多くの人が参加しており、異文化交流がたくさんできることもこの研修の魅力の一つだと思います。休日は自由時間になっており、自分が行きたい場所に行くことができます。私は韓国の首都ソウルへ行きました。場所によって雰囲気なども違うのでいろいろな景色を見ることができました。自分たちの力でたくさんいろいろなところに行った経験は自信にも繋がりました。今回の研修を通して、実際に韓国へ行き、様々なことを学べたことが自分にとって本当に貴重な経験になりました。あらためて自分自身が韓国や異文化理解についてなどを見つめ直すきっかけにもなりました。韓国に限らず少しでも海外に興味がある人は、ぜひ参加してほしいです。今後もこの経験をいかし、積極的に異文化交流の活動に参加していきたいと考えています。

◇韓国語授業では、レベルテストで自分に合ったクラスに割り当てられるので、楽しく授業を受けることができました。研修では、運動会、K-pop ダンス、ソウル観光、コンサート、テコンドーなど色々なプログラムもありました。他にもパイロットと呼ばれる私たちをサポートしてくれる韓国の学生と遊びに行ったり、授業を一緒に受けているクラスメイトとご飯を食べに行ったり、プログラム外でもとても充実した 3 週間を過ごすことができました。なにか不便なことや困ったことなども気軽にパイロットに相談できたことは、とても心強かったです。この研修に参加しているのは日本人だけではないので、韓国人以外にも台湾、中国、ロシアなど様々な国の人と交流することができました。外国の人と交流できる機会はたくさんあるわけではないので、これらも貴重な体験となりました。

## 異文化理解研修（中国・北京）

【研 修 先】北京外国語大学

【参 加 者】10名

【研 修 期 間】平成30年8月1日（出発日）～8月29日（帰国日）

【プログラム内容】中国語授業／京劇鑑賞／北京農学院の学生との交流／現地見学

（万里の長城・故宮・天壇公園、頤和園など）



## 異文化理解研修（韓国・蔚山／ソウル）

【研修先】蔚山大学校・ソウル神学大学校

【参加者】11名

【研修期間】平成30年8月5日（出発日）～8月30日（帰国日）

【プログラム内容】韓国語授業／文化体験（オンギ体験、韓国料理、テコンドーなど）／現地見学（蔚山、慶州など）



### 【参加学生の感想】

◇授業について：蔚山大学では、午前3時間、午後3時間の韓国語の授業を中心に行いました。授業の中で、韓国の伝統的なゲームをしたり、他の大学や施設で、テコンドーなど、韓国の文化体験をしました。ソウル神学大学では、日本、韓国、両国のプレゼンや、地元の高中生や小学生たちと交流を行いました。

◇寮では二人一部屋で生活していました。平日は朝食が日替わりのメニューで用意されていました。点呼は11時にあるなど、その他さまざまな寮生活におけるルールがありました。他大学の学生とも同じ建物でたくさんの交流ができました。

◇特に印象に残っているのはDMZを訪れた時のことです。DMZとは、韓国と北朝鮮の国境地帯、非武装地域のことを指します。戦後60年以上たった今なお分断されている朝鮮半島の現状に悲壮な気持ちとなりました。

## 異文化理解研修（カナダ・バンクーバー）

【研 修 先】ランガラ大学

【参 加 者】29名

【研 修 期 間】平成30年8月5日（出発日）～8月27日（帰国日）

【プログラム内容】ランガラ大学での研修、現地の一般家庭にホームステイを通し、異文化に親しむ。



### ▼ホストファミリーと



### 【参加学生の感想】

◇私たちは1家族に1人でホームステイをしました。ホストファミリーは温かく迎えてくれ、いつも優しく接してくれました。家では夜ご飯の時に、ホストファミリーと喋ることが多かったです。拙い英語で、何とか伝えようと努力し、ホストファミリーも真剣に話を聞いてくれました。3週間ホームステイをしてみて、カナダの家庭の生活感を知れたし、常に英語と接することができ、とても良い経験になったと思います。



◇この研修に参加してすごく積極性が身に着いたと思います。新しい環境に身を置くことで物事を恐れることなくオープンマインドな気持ちで人々と接したり、自分が今まで経験したことのないことに挑戦したりできました。

◇SELPでは、午前中は基本的な英語の授業を受け、午後は英語でプレゼンテーションを行ったり、フィールドワークで調べたことの発表などを行いました。午前中の授業では英語で

話すことを目的に自分の休日を伝えたり、様々なアクティビティを行いました。

プレゼンテーションでは、予め決められた課題について自分たちで調べ、それを発表しました。毎週水曜日には、フィールドワークに出かけたり、山に登ったりと屋外での活動を行いました。

## 異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）

【研 修 先】ハワイ大学

【参 加 者】11名

【研 修 期 間】平成31年3月2日（出発日）～3月25日（帰国日）

【プログラム内容】英語授業／文化体験／海洋スポーツ（ボディボード等）



## イグビネディオン大学（ナイジェリア）来学

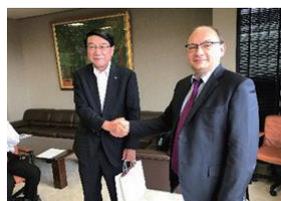
両大学間で有意義な交流を進めるきっかけとして、平成31年3月15日から3月17日にかけて、教員1名と学生6名が来学しました。出雲大社への視察の際には、浜田・出雲キャンパスの学生と留学生が、交流に参加しました。



## ロシア海洋国立大学の訓練船「ナジェジュダ号」寄港

日露両政府が両国の交流促進の年とする本年、「日本におけるロシア年」事業の一環として、本学と交流協定を結んでいるロシア海洋国立大学の訓練船「ナジェジュダ号」が6月25日から29日まで浜田港に親善寄港しました。

26日は、海洋大学の学生約50人が来学し、ロシア留学を志していた平岡都さんを偲ぶ記念花壇「ガーデン・オブ・ホープ」への献花が行われたあと、バレーや大縄飛びなどのスポーツで交流しました。翌27日は、本学の学生約70人が停泊中の訓練船において、海洋大学の学生たちとロシア語や英語による会話で交流を深めました。また、28日には船の一般公開が行われ、ロシアの音楽やダンスの披露、石見神楽が上演されました。地元の園児や小学生のほか、地域の方々が珍しい帆船の見学に訪れて、日本とロシアとの交流を深める1日となりました。



学内視察



紙漉き体験



ガーデンオブホープ献花



スポーツ交流



小学校訪問

## 寧夏大学外国語学院日本語学科（中国）訪問団来学

平成30年8月27日から29日にかけて、教員1名と学生14名が来学しました。



▲副学長表敬



▲学内視察



▲津和野町視察



▲紙漉き体験



▲畳ヶ浦散策



▲津和野町視察

## 留学生歓送迎会

浜田キャンパスでは、留学生の歓送会・迎会を年3回行っています。歓迎会では新しい留学生の自己紹介や抱負を、送別会では学生生活の思い出や今後の予定を語ってもらい、今後の活躍や友好関係の継続を願いながら、交流を深めました。



## 異文化研修 I (韓国)

平成 25 年度より実施している韓国での異文化研修は、今年度で 5 回目となります。平成 30 年 8 月 21 日から 8 月 26 日まで、1 年生 21 名が、韓国大邱広域市にある啓明大学校と大邱韓医大学校、そして今年度から新たな研修先となる大邱保健大学での研修に参加しました。

 <p>施設見学</p>	<p>【啓明大学校での研修】</p> <p>施設見学と交流会をしました。シミュレーション教育が実施出来る設備が整っており、出産や出産後などそれぞれの場面が想定されたシミュレーターが準備されていました。</p>
 <p>学生さんとの交流</p>	<p>【大邱韓医大学校での研修】</p> <p>交流会をしました。それぞれの大学についてプレゼンし、歌や踊りを披露しました。その後、一緒に扇子を作りました。言語の違いに戸惑いながらも、身振り手振りで交流しました。</p>
 <p>大邱保健大学にて</p>	<p>【大邱保健大学での研修】</p> <p>交流会をしました。それぞれの大学についてプレゼンし、歌や踊りを披露しました。その後、一緒に夢をモチーフにしたアクセサリーと螺鈿を作りました。授業について質問しあったり、お互いの国について興味のあることを聞き合ったりしました。</p>
 <p>茶道体験</p>	<p>【韓国文化体験】</p> <p>伝統衣装を着て韓国茶道を体験しました。日本と違い、湯のみが小さく、一対一で行います。また、見た目、香り、味を楽しみ、それを三回行います。三回それぞれ味も香りも違ったことに驚きました。異文化体験を通じ、日本と違う他国の文化を認めたり、共通点を見つけたりする姿勢が大切だと感じました。</p>

### 【参加学生の感想】～異文化研修 I (韓国) 報告書より抜粋～

- ◇韓国研修に参加し、日本で勉強することだけでは知る事のできない韓国の医療、文化を学ぶことができました。今回の研修を通して、グローバルな視点で物事が見られるようになったと思います。今回気づいたこと学んだことを、これからの大学生活に活かしていきたいです。
- ◇漢方に興味があり、沢山の漢方食材が入っている料理はとても魅力的でした。入っている食材を食べることによってどのような効果があるのか、日本ではどう取りいれるべきなのか、これから栄養学を学ぶ中でも意識していきたいと感じました。

## 異文化研修Ⅱ（アメリカ）

平成8年より実施しているウェナチー・バレー大学とシアトル大学（ともにアメリカ・ワシントン州）での異文化研修に、今年度は2年生22名が参加しました。平成30年8月21日から8月31日の約10日間、アメリカの医療と文化、多様な価値観に触れ、興奮と感動の日々の中で、見て・聞いて・感じて、体験を通して学びました。



Skits の練習風景



ホームステイ

### 【語学研修・文化体験】

Wenatchee Valley College で、3時間の語学研修を4日間行いました。基本的な挨拶の返事の返し方を学習したり、アメリカで感じた日本との違い、ホームステイでどんなことをしたのかを英語で話しました。Skit(寸劇)では、3~4人のグループに分かれ、ホストファミリーへの感謝の夕食会の時に披露する劇を、医療をテーマにして自分たちで考えました。語学研修では楽しく英語を学ぶことができました。なかなか英語が伝わらず、ジェスチャーを交えながらのコミュニケーションではありましたが、自分の言いたいことが伝わった時には嬉しさがありました。そして、もっと英語を勉強したい、スムーズにコミュニケーションがとれるようになりたいと思う語学研修になりました。



病院見学

### 【医療機関、福祉施設見学】

Wenatchee valley hospital やツインピークスマナーモバイルホームパークなど、米国の医療と福祉の現場を見学しました。ドクターヘリ、手術室の見学や管理栄養士から病院食についての説明がありました。Seattle では、Children's hospital を見学しました。院内が山・川・海のデザインに分けられており、子どもたちが迷わない工夫がされていました。



学生さんとの交流

### 【看護教育】

Wenatchee Valley College の学生さんは、看護師への志が高く、とても刺激を受けました。その後、大学内の演習施設を案内してもらい、医療用シミュレーターや新生児用のシミュレーターを見学しました。Seattle University では、Clinical Performance Lab に行き、実際の現場を想定した演習施設が整備されていました。

## 南ユタ大学（アメリカ）との交流

平成30年5月15日に、教員2名と学生15名を迎えて交流しました。グループ別の交流や体育館での文化体験（けんだま、コマ）、スポーツ交流を楽しみました。



▲グループ別交流



▲文化体験・スポーツ交流



## 異文化理解演習

「2018年夏期日本語・日本文化研修」に参加している海外の協定校からの学生16名と松江キャンパスの学生20名が、平成30年7月17日から7月19日にかけて交流しました。

アイスブレイクやゲームを通じた交流や、松江キャンパスの学生が企画・準備したツアーを体験し、最終日には、体験したツアーの紹介、交流を通じて感じたことを各チームでまとめて発表しました。



▲ゲームを通じた交流



▲抹茶体験



▲松江城散策



▲まがたま作り体験



▲成果発表会



▲集合写真

## 海外語学研修（アメリカ）

松江キャンパスでは、ワシントン州立セントラル・ワシントン大学（CWU）と協力協定を1990年6月に締結し、交流を進めています。平成27年度には、交流25周年を記念し、記念誌の作成と交流協定の内容に関する覚書を締結しました。

海外語学研修（サマープログラム）は夏休みを利用してCWUに滞在し、語学研修や企業訪問、文化体験等を行います。平成30年度は8月7日から8月28日の約3週間実施し、学生25名が参加しました。



▲授業風景



▲学生との交流



▲川下り



▲乗馬体験



▲家庭訪問



▲マリナーズ観戦



▲プレゼン発表



▲企業訪問



▲お別れ夕食会

### 【参加学生の声】（報告書からの抜粋）

- ◇何事にも挑戦し、勇気を出して積極的に行動することの大切さや、英語にこんなにも夢中になっている新しい自分を発見することもできた。
- ◇英語力だけではなく、コミュニケーション能力や異文化について沢山学ぶことができた。人生の中で忘れることの出来ない貴重な経験を沢山得た。

---

島根県立大学・島根県立大学短期大学部

平成 30 年度 国際交流報告書

2019 年 4 月発行  
編集・発行

---

島根県立大学 国際交流センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2  
TEL:0855-25-9063 FAX:0855-23-7352  
E-MAIL : h-kokusai@u-shimane.ac.jp

---